

『幟町マート』プロジェクト

提案団体：幟町マート実行委員会

代 表 者：医療経営学科 4 年 高橋 愛佳

顧 問：医療経営学科 准教授 田村 潤
講師 井山 慶信

実 施 計 画

実施期間 2015年12月19日（土）

奨励金額 22,462円

活動目的 もみじ作業所との交流、また、福祉に関する経験を積み知識を深める。

達成目標 多くの学生が福祉に興味を持ち、知識を深めるきっかけにしてもらう。

計画概要 もみじ作業所の商品販売、もみじ作業所の作品展示、健康チェック、
わたがし販売、バルーンアート体験、さをり織り体験

パートナー 社会福祉法人 もみじ作業所

活動・成果報告

学生は、数人のグループに分かれ、各ブースを担当しました。商品販売や接客等が初めての学生もいましたが、スムーズに接客や誘導などを行えました。そして、一人一人がきちんと仕事をこなし、積極的に活動したため、ケガもなく、多くの人に楽しんでもらえたと思います。

また、もみじ作業所で行われていることや、「さをり織り」を地域の方に実際に体験してもらったことはとてもよかったと思います。地域の方だけではなく、学生も自ら販売することで作業所のことを学び、商品を詳しく知り、作業の大変さ等を学ぶことができました。



成 長 度

1. どのような課題に直面し、(それを乗り越えるために) どんな苦労がありましたか。

学生だけで企画するイベントとは違い、福祉作業所の方と一緒に行うイベントだったため、連絡の取り方、催し物等を決めることが難しかったです。

また、初めての試みだったため、どのようにして人を呼ぶのか、告知方法等を考えることが大変でした。

2. その課題をどのような努力や工夫で乗り越えましたか。

連絡の取り方については、もみじ作業所の担当者が多忙のため、なるべく一度で連絡が取れるようにリストを作成し、メールで回答いただけるようにしました。催し物は、もみじ作業所の担当者と学生が意見交換をし、作業所で実際に製作している「さをり織り」体験をはじめ、子供たちが楽しめる催し物を企画しました。

告知方法は、地域の小学校、自治体にチラシを配り、幟町ギャラリーでの展示を行いました。また、大学に協力をいただき、テレビや新聞等でも告知することが出来ました。

3. 自分たち（チーム）が一番成長したところはどこですか？理由もお願いします。

企画力が一番成長したと思います。
最初は何をしていいかわからず、戸惑っていましたが、次第により良いイベントにするために意見交換を行うことが出来るようになりました。何もないところから一から作りあげていくことは大変でしたが、終わった後には達成感があり、とてもいい経験になりました。

4. 企画に参加したパートナーからの感想や気づき

この度は、「幟町マート」にお声かけいただきまして、誠にありがとうございました。当日は売り上げも上々で、よかったと思っています。もみじ作業所を、学生さんをはじめ、いろいろな方に知っていただける機会となったこと、広島国際大学さんとの関係を今まで以上に密にすることができたこと、作業所自主製品がたくさん売れたこと、自主製品へのアドバイスをいただけたことなど、これからにつながるが多々あったなあ、と感じています。

準備につきましては、はじめての取り組みということもあって、こちらイメージをしっかりと持つことができずに、勢いにまかせてやってしまった感は否めません。もう少し丁寧に、一つ一つ確認しながら進めていく必要があったかと反省しています。今までにも展示会、バザーなどは取り組んできているので、多少強引に進めてしまったかもしれません。

当日については、お客さんの来場者数は満足できるものだったのか気になります。今回の「幟町マート」の目的が学生さんの福祉施設への理解を深めること、イベントの企画・実行というところがメインであるため、その部分では大いなる成果があったものと期待するところですが、イベントを企画・実行する上で、来場者数は、企画者の達成感に大きく影響を及ぼします。今後、この「幟町マート」を大きく発展させていく上で、継続して一緒に何かできればと思います。

今回はどうもありがとうございました。

社会福祉法人もみじ福祉会 第一もみじ作業所 所長 古川 大介



構成メンバー（学科・年次・氏名）

医療経営学部医療経営学科	4年	高橋愛佳、森本悟史、木原都、藤村朋江、森野真由
	3年	照屋祥平、堀田康貴
	2年	辻田沙紀、谷梓、宮内京佐、仁志俊太郎
	1年	深井那千香、戸田鈴音、松浦希実、石井利香